
■ 実習集

実習「閉ざされた村」

楠本和彦
(南山大学人文学部心理人間学科)
丹羽牧代
(南山短期大学英语科)

ねらい

- ・人や社会との約束に対する判断や選択に関して、影響をおよぼす要因に目を向ける。
- ・自分や他者の価値観に気づく。

グループサイズ

4～5人グループが、2から数10まで実施可能

所要時間

150分（グループや全体でのわかちあいの時間を調整することで、全体の所要時間の調整することが可能である。）

準備物

1. 手順書（資料1）、ストーリーと課題用紙（資料2）、決定事項記入用紙（資料3）、ふりかえり用紙（資料4） 各自に1枚ずつ
2. カード（資料5、資料6） グループに1組
カードを適切な大きさの厚紙に印刷すれば、繰り返し使用することができる。カードは切りはなし、グループに1組ずつ準備する。カードは、資料5に示した色の紙に印刷する。

会場の設定

グループメンバーが適切な大きさの机を囲むような設定が望ましい。あるいは

は、グループメンバーが床に円形に座り、グループワークをすることも可能である。

手順

1. 導入 ねらいの説明、手順の説明 <20分>

1-1 ねらいの説明

ここに記されたねらいは、抽象度の高い文章になっている。そのため、参加者の状況やニーズなどを考慮し、参加者にとって、このねらいが具体的な状況と関連して理解できる導入の工夫が必要となる。また、実習を行うことの意味、意義が参加者に伝わるよう、導入する。

1-2 手順の説明

手順が複雑であるため、導入での手順説明では、全体の概要が参加者に理解できるように説明する。そして、より詳細な手順に関しては、適宜ファシリテーターが説明する。

1-3 ストーリーと課題を読む

参加者がストーリーと課題を理解できるとともに、以下の留意点を強調する必要がある。

留意点：

- ・この実習には、正しい答え・立派な答えはない。また、絶対間違いの答え・つまらない答えもない。自分の考えに従って、率直に、選択し、その理由を記す。
- ・この実習は、M. Night Shyamalan監督の映画「The Village」に着想を得て作成されたが、原作とは状況や設定が同一ではないため、原作とは関連づけずに考える。

1-4 デモンストレーション

白のカードを使い、デモンストレーションを行い、実施手順の理解を促す。ファシリテーターがカードを読み、参加者は、その状況において、どのような選択をするか、即座に「破る・破らない・決められない」から選ぶ。

2. 実施

1 個人決定 <25分>

1-1 個人決定（10分）

ファシリテーターは以下のような手順で実施することを教示する。

- ・1組のカードがグループに配布される。カードは裏向きに、重ねず、バラバラに置かれる。
- ・カードを各参加者が交替して順に開く。開いた人が読み上げる。
- ・カードごとに条件が異なる状況が現れるので、あまり考え込まずに即座

に自分ならどうするか「破る・破らない・決められない」から選ぶ。「決定事項記入用紙」にある当該カードの「自分の選択」欄の選択肢に○をつける。カードは色紙で作成されており、「決定事項記入用紙」の一番左の欄に記されたカードの色と対応している。

- グループのすべての参加者が選択肢に○をつけたら、次の人がカードを開く。
- 参加者はすべてのカードについて、選択を行う。

1-2 選択理由などの記入（15分）

ファシリテーターは、参加者がその選択した理由や選択の際に考えた条件設定などを「選ぶときに考えたこと」の欄に記すよう、伝える。

2 個人決定のわかちあい <35分>

2-1 一覧表づくり（5分）

「さん」の欄に各参加者の氏名を記入し、続いて、各参加者がそれぞれのカードについて、どの選択を選んだのかを伝えあい、「決定事項記入用紙」のその人の欄に○をつけていくよう、ファシリテーターは伝える。

2-2 選択理由などのわかちあい（30分）

ファシリテーターは以下の手順で実施するように伝える。

- ひとつのカードにつき、各自の選択理由や考えのわかちあいをしていく。グループの中で一人でも違う選択をしたカードがあれば、そのカードからわかちあいを行う。違う選択をしたカードがなければ、そのグループがわかちあいをしたいカードから行っていく。
- 1枚のカードについて、自分の決定とその理由を説明する。他の人はその人の決定と理由を尊重し、丁寧に聴く。そして、感想や質問を返す。全員がそれを行う。
- 1枚のカードについてのわかちあいが終わってから、次のカードのわかちあいに移る。

ファシリテーターは、以下の留意点を強調する必要がある。

留意点：各参加者が自分の決定とその理由を説明する際、他の参加者はその人の決定と理由を尊重し、丁寧に聴く。そのような態度を基本的にもちつつ、相手に感想や質問を返す。

3. ふりかえり用紙記入 <15分>

ファシリテーターは、参加者が各項目に自分の気づきを記入するように伝える。

4. 小グループでの、ふりかえり用紙のわかちあい <20分>

ファシリテーターは各グループでふりかえり用紙のわかちあいをするよう、伝える。

わかちあいの方法は、以下の2つの方法が考えられる。

- 1)一人の参加者が、「1. 自分について」の1)～3)までの項目に記したことを伝える。その後、他の参加者は、自分のふりかえり用紙の2の項目に記した、その参加者について、記したことを伝える。
- 2)ふりかえり用紙の一つの項目ごとに、順にすべての参加者がわかちあう。一つの項目について、すべての参加者が述べた後、次の項目についてわかちあう。

5. 全体でのわかちあい <35分>

話し合われた内容やグループプロセスが、各グループで異なることが充分想定されるため、ファシリテーターは各グループで話し合われた内容やグループプロセスについて気づいたことを全体に発表するよう、伝える。

各グループからの発表に対して、ファシリテーターは他のグループからの質問や感想を求めたり、ファシリテーター自身がねらいに基づき、コメントすることも可能である。

ファシリテーションのポイント

手順で記したことと重なるが、強調の意味もこめ、再度、以下にファシリテーションのポイントを挙げる。

ここに記されたねらいは、抽象度の高い文章になっている。そのため、参加者の状況やニーズなどを考慮し、参加者にとって、このねらいが具体的な状況と関連して理解できる導入の工夫が必要となる。

手順が複雑であるため、導入での手順説明では、全体の概要が参加者に理解できるように説明することが重要である。そして、より詳細な手順に関しては、適宜ファシリテーターが説明する。

選択理由などのわかちあいの際、他者の説明や価値観を尊重し、丁寧に聴く姿勢を参加者に伝えることが重要である。

バリエーション

ねらいに、「グループ、コミュニケーション、個人のプロセスに気づく」という趣旨の言葉を追加することができる。その際には、ふりかえり用紙の項目や全体のわかちあいの発表内容にもそれを反映する。

カードの内容は、研修全体のねらい、参加者の年齢、ニーズ、状況などを考慮して、適切な場面や設定に変更することが望ましい。

原案の作成

この実習の原案は、丹羽牧代と楠本和彦により、City Rejoice Churchの修養会（2007年9月）の一プログラムとして作成された。事前に榊原康成牧師と協議し、実習内容を決定した。原案では参加者に適した、別の項目のふりかえり用紙を使用した。また、実施時間は約90分であった。

その後、2007年度の日本ラボラトリー・トレーナーの会（JLTA）にて発表し、その際いただいたコメントを参考にして、加筆修正を行った。

参考文献

M. Night Shyamalan（監督）（2004）：The Village. Touchstone Pictures（製作）.

資料1

「閉ざされた村」手順書

ねらい：

- ・ 人や社会との約束に対する判断や選択に関して、影響をおよぼす要因に目を向ける。
- ・ 自分や他者の価値観に気づく。

手順：

1) 導入 ねらいの説明、手順の説明

- 1 ねらいの説明
- 2 手順の説明
- 3 ストーリーを読む
- 4 デモンストレーション

2) 実施

1 個人決定

1-1 個人決定

- ・ グループに配布されたカードを各参加者が順に開く。開いた人が読み上げる。
- ・ いくつかの条件が異なる状況が現れるので、あまり考え込まずに即座に自分ならどうするか「破る・破らない・決められない」から選ぶ。決定事項記入用紙のそのカードの選択肢の中から自分が選んだものに○をつける。他の人が引いたカードに関しても同様にする。
- ・ グループのすべての参加者が選択肢に○をつけたら、次の人がカードを開く。

1-2 選択をした理由を記す。

2 個人決定のわかちあい

2-1 一覧表づくり

- ・ それぞれのカードについてどの選択肢を選んだのかを伝えあい、決定事項記入用紙のその人の欄に○をつけていく。

2-2 選択理由のわかちあい

- ・ ひとつのカードにつき、各自の選択理由や考えのわかちあいをしていく。
グループの中で一人でも違う選択をしたカードがあれば、そのカードからわかちあいを行う。なければ、そのグループがわかちあいをしたいカードから行っていく。
- ・ 1枚のカードについて、自分の決定とその理由を説明する。他の人はその人の決定と理由を尊重し、丁寧に聴く。そして、感想や質問を返す。全員がそれを行う。
- ・ 一枚のカードについてのわかちあいが終わってから、次のカードのわかちあいに移る。

3) ふりかえり用紙記入

4) ふりかえり用紙のわかちあい

5) 全体でのわかちあい

注：この実習は、映画「The Village」監督 M. Night Shyamalan に着想を得て作成されましたが、原作とは状況や設定が同一ではないため、原作とは関連づけずに考えてください。

出典：楠本和彦・丹羽牧代（2008） 実習「閉ざされた村」
南山大学人間関係研究センター紀要「人間関係研究」第7号より

資料2

「閉ざされた村」 ストーリーと課題

－ ストーリー －

奥深い山へハイキングに出かけたあなたは、急流の河に誤って滑り落ち、流されてしまいました。気がつくと、風変わりな村の村人たちに助けられていました。村の端にある急流の水の噴出し口に倒れていたというのです。

村は深い森に囲まれて完全に独立しており、外界との交渉はいつさいありません。200年くらい前の暮らし方で、ないものや出来ないことはたくさんありましたが、争いやもめ事のほとんどない、豊かな平和な村でした。自然も作物も動物も豊かで穏やかでした。高台の上ってみたあなたは、村の周りがとてつもなく深い森で完全に囲まれているのを確認します。あなたを運んできたらしい水はもともと地下の水脈で、村のはずれでたまたまほんの少しの間だけ地上に現れ、また地下に潜っているようです。あてもなくひとりで森に入って、自力で元の社会に戻るのは無理そうです。

村の人たちは、森には神さまが住んでいると信じている、とても敬虔な人々でした。村のリーダー達によれば、村が守られているのは、「森の中へ絶対に入ってはいけない」という森の神様との契約と引き換えなのだそうです。誰かひとりでもその契約を破れば、村全体に災いが降りかかり、恐ろしいことが起こると伝えられていました。村の周囲に草原があり、その周りを森が取り囲んでいます。森の端まで数メートルのところろでロープでラインが作ってあって、村人たちは、森の中へ入らない、という契約を守るため、そのラインを決して超えない、ということを決してし、それを破ることを非常に怖れていました。

とりあえずその社会で暮らしていくしかないあなたは、「居候していいよ」、と言ってくれたある貧しい一家のうちに住まわせてもらうことになりました。そして、村人たちの前で、その掟が森の神様との契約であり、村のルールであるのなら、村に住む以上自分もそれについて従うことを約束します。そしてあなたはその村に溶け込んで暮らし始め、半年が立ちました。。。

－ 課題 －

そんな村に住む、あなたは、カードに記されたような状況のとき、

1) 村の掟に対して、あなたはどのように対応しますか？

「破る」「破らない」「決められない」の中からどれか一つを選択してください。

2) その理由はどんなものですか？

注：

・正しい答え・立派な答えはありません。また、絶対間違いの答え・つまらない答えもありません。自分の考えに従って、率直に、選択したり、その理由を記してください。

出典：楠本和彦・丹羽牧代（2008） 実習「閉ざされた村」
南山大学人間関係研究センター紀要「人間関係研究」第7号より

資料3

「閉ざされた村」決定事項記入用紙

- 1) それぞれのカードの状況で、自分が村の掟についてどのような選択をするか、その選択に○をつけてください。
- 2) 選択の理由は後で記します。また、各自の選択とその理由は、後で伝えあいます。

カードの色	自分の選択	選ぶときに考えたこと (選ぶ理由や、これを選ぶけれど、ただし〇〇であれば、ということなど)	さん	さん	さん
白	破る		破る	破る	破る
	破らない		破らない	破らない	破らない
	決められない		決められない	決められない	決められない
レッド	破る		破る	破る	破る
	破らない		破らない	破らない	破らない
	決められない		決められない	決められない	決められない
イエロー	破る		破る	破る	破る
	破らない		破らない	破らない	破らない
	決められない		決められない	決められない	決められない
グリーン	破る		破る	破る	破る
	破らない		破らない	破らない	破らない
	決められない		決められない	決められない	決められない
ピンク	破る		破る	破る	破る
	破らない		破らない	破らない	破らない
	決められない		決められない	決められない	決められない
ブルー	破る		破る	破る	破る
	破らない		破らない	破らない	破らない
	決められない		決められない	決められない	決められない

出典：楠本和彦・丹羽牧代（2008） 実習「閉ざされた村」
 南山大学人間関係研究センター紀要「人間関係研究」第7号より

資料4

「閉ざされた村」ふりかえり用紙

自分の選択やその理由を記したり、他の人の選択やその理由を聴いて、感じたり、気づいたことを、以下の項目にしたがって記してください

1.自分自身について

- 1) 6つのカードについての選択や選択理由には、自分のどんな考えや要因が関係していましたか？いくつでも挙げてください。以下の例を参考にすることもできます。

例) 自分のため？村人のため？動物のため？ラインを越えるだけ？森に入る？村に戻ってくる？森の神様の災いを信じる？信じない？自分で判断して？村人に頼まれて？自分の・村の未来？など
--

- 2) 1)に書いたことをもとにして考えてみた時、自分が大切にしようとしたものは何だと思えますか？

- 3) 人や社会との約束に対する判断や選択に関して、どのような要因が自分に影響をおよぼしていますか？この実習を通して気づいたことを記してください。

2.他の人の言動（その人の選択やその理由、他の人とのコミュニケーションなど）で印象深かったのは、誰の、どのようなものですか？またどのような印象をもちましたか？できるだけ具体的に記してください。

(誰の) (どのような言動に) (どのような印象を)

資料5

カード No.1 白色 (デモンストレーション)

村はずれのライン近くまであなたひとりでピクニックに来ました。すると、持ってきた梨がころころ転がって、ラインからほんの 50 センチだけ森側に出てしまいました。

あなたはラインを越えますか？

カード No.2 レッド

あなたになついてくれている 5~6歳の子どもたちが、あなたのところに駆け込んで来ました。ひとりが連れていた仔犬が、ラインを越えて森側に出て行き、2メートルくらい向こうで窪みにはまって動けず鳴いている、どうしよう、助けて、と訴えます。

あなたはラインを越えますか？

カード No.3 イエロー

大好きだったおじいちゃんの形見で、大事に大事に使ってきた帽子を、あなたは持ってきていました。それをかぶって、村はずれのライン近くをひとりで散歩していたら、帽子は風に飛ばされて、森の中に飛んで行ってしまいます。どこにあるかはわかりません。でも、そんなに遠くまで飛んだわけではなさそう。

あなたは森に入りますか？

カード No.4 グリーン

あなたは、ある時、森の入り口からほんの少しだけ森の中に入ったところに、何十年かに一度しかならない幻の実がなっているのを見かけました。それをひとりで取ってきたら、村の中では価値が高く、あなたを置いてくれている一家が貧しい暮らしから抜け出せます。

あなたは森に入りますか？

カード No.5 ピンク

村の暮らしの中で、あなたにとって一番大事になった人(恋人とか友だちとか)が、破傷風にかかり死に掛かっています。村長が実は「外界への地図」を隠し持っていることを、あなたは偶然知ります。それを盗み見れば森を通過して外界へ行き、血清(特効薬)を取ってくる事ができる。それがあれば必ず助かるし、その薬を使わなければその大事な人は死んでしまうでしょう。

あなたは森を抜け、特効薬を村に持ち帰りますか？

カード No.6 ブルー

怠け癖が抜けなくて、村の嫌われ者の青年がいます。酔った勢いで、村長の家に盗みに入ろうとして怪我をし、破傷風にかかり死に掛かっています。その青年のお母さんがあなたのところにやってきて、村長が隠し持っていた「外界への地図」を盗んできたことを告げます。自分は怖くて行けないが、あなたなら森を通過して外界へ行き、自分の息子を助ける薬を知っているのではないかと、取ってきてくれ、と必死に頼んでいます。

あなたは森を抜け、特効薬を村に持ち帰りますか？

資料6 カード(印刷用サンプル)

カード 白色 (デモンストレーション)

村はずれのライン近くまであなたひとりでピクニックに来ました。すると、持ってきた梨がころころ転がって、ラインからほんの 50 センチだけ森側に出てしまいました。

あなたはラインを越えますか？

カード レッド

あなたになついてくれている 5～6 歳の子どもたちが、あなたのところに駆け込んで来ました。ひとりが連れていた仔犬が、ラインを越えて森側に出て行き、2メートルくらい向こうで窪みにはまって動けず鳴いている、どうしよう、助けて、と訴えます。

あなたはラインを越えますか？

カード イエロー

大好きだったおじいちゃんの形見で、大事に大事に使ってきた帽子を、あなたは持ってきていました。それをかぶって、村はずれのライン近くをひとりで散歩していたら、帽子は風に飛ばされて、森の中に飛んで行ってしまいます。どこにあるかはわかりません。でも、そんなに遠くまで飛んだわけではなさそう。

あなたは森に入りますか？

カード グリーン

あなたは、ある時、森の入り口からほんの少しだけ森の中に入ったところに、何十年かに一度しかならない幻の実がなっているのを見かけました。それをひとりで取ってきたら、村の中では価値が高く、あなたを置いてくれている一家が貧しい暮らしから抜け出せます。

あなたは森に入りますか？

村の暮らしの中で、あなたにとって一番大事になった人（恋人とか友達とか）が、破傷風にかかり死に掛かっています。村長が実は「外界への地図」を隠し持っていることを、あなたは偶然知ります。それを盗み見れば森を歩いて外界へ行き、血清（特效薬）を取ってくる事ができる。それがあれば必ず助かるし、その薬を使わなければその大事な人は死んでしまうでしょう。

あなたは森を抜け、特效薬を村に持ち帰りますか？

怠け癖が抜けなくて、村の嫌われ者の青年がいます。酔った勢いで、村長の家に盗みに入ろうとして怪我をし、破傷風にかかり死に掛かっています。その青年のお母さんがあなたのところにやってきて、村長が隠し持っていた「外界への地図」を盗んできたことを告げます。自分は怖くて行けないが、あなたなら森を通過して外界へ行き、自分の息子を助ける薬を知っているのではないかと、取ってきてくれ、と必死に頼んでいます。

あなたは森を抜け、特効薬を村に持ち帰りますか？

実習使用規定

ラボラトリー方式の体験学習に関するツールを公開することで、ラボラトリー方式の体験学習が広く普及することを願って、第7号(2008)より「実習」を掲載しております。ここに掲載されている実習は、当センター研究員とその仲間によって開発され、これまでの教育実践で用いられてきたものです。使用の際には以下の留意事項をお守りください。

なお、ラボラトリー方式の体験学習を実施する際には、まずはご自身がラボラトリー方式の体験学習を体験されることをお勧めします。当センターではラボラトリー方式の体験学習を用いた公開講座を開催しております（詳しくは当センターの Web ページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/> をご参照ください）。体験学習のファシリテーションを学んだ上でご使用ください。

実習を使用する際の留意事項

1. 著作権は著者に属します。実習を販売することや、営利目的の発行物などに転載をすることは禁止します。なお、教育目的での無料の発行物などに転載を希望される場合は、当センター事務局にお問い合わせください。
2. ラボラトリー方式の体験学習として教育・研修などに使用される場合には、各実習の課題シート（実習の指示書）に出典を明記してください。使用の際に当センターや著者に許可を得る必要はありません。また、使用料も発生しません。

【出典の記入例】

出典：大塚弥生（2008）「グループ エントランス」

南山大学人間関係研究センター 人間関係研究, 第 7 号より

3. 課題シート（実習の指示書）をそのまま使用するのではなく、プログラムの実施状況に合わせて適宜修正・変更した上で使用する場合は、「参考」として出典を明記してください。
4. ラボラトリー方式の体験学習で大切にされている教育観（学習者中心の教育、非操作の教育、学習者が自らの人間的成長に取り組む教育）に反する使用は禁止します。たとえば、営利目的で学習者を操作する自己啓発セミナーなどでの使用は一切禁じます。